



九州工業大学情報工学部では、
最先端の研究者の話を気軽にきける機会として
『サイエンス・カフェ』を始めることになりました。

第4回 サイエンス・カフェ @九工大情報工学部

●日時：2011年 **10月7日(金)**
18:00~19:30

●場 所：九州工業大学・飯塚キャンパス
福利施設2階喫茶 飯塚市川津 680-4

●テーマ：『ここまで来たゲームAI』

なかむら ていご
●ゲスト：中村 貞吾 氏

(情報工学研究院
知能情報工学研究系
准教授)

参加費用 **無料** コーヒー・お菓子つき

どなたでも参加いただけます。学校、お仕事、
買い物帰りなど、お気軽にお越しください。

●申込み 必要（定員20名）

申込み・お問い合わせ先 情報工学部 広報室

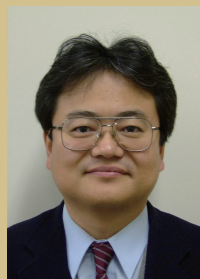
電 話：0948-29-7509（平日10:00~17:00）

メー ル：sciencecafe@pr.iizuka.kyutech.ac.jp

一般の方々が、科学者と、お茶やコーヒーを飲みながら、気軽に科学について語り合うことで、コミュニケーションをとる試みです。

1998年前後にイギリス、フランスではじまり、その後ヨーロッパを中心にアメリカ、カナダ、インド、オーストラリアなど世界各地に拡がり、日本では2004年に京都で始められたのが最初といわれています。

講演会やセミナーなどとは異なり、一般の方々の輪の中に科学者が加わり、科学の話題を提供しながら、参加者みんなで考えることをとおして、科学への関心と理解を深めようというものです。科学を身近に楽しめるイベントとして注目されています。



ゲスト紹介

なかむら ていご
中村 貞吾 氏
情報工学研究院
知能情報工学研究系
准教授

人工知能（AI）という分野が生まれた当時から、ゲームを計算機にプレイさせることは重要な研究テーマでした。

1997年にコンピュータチェスが頂点を極め、現在では、コンピュータ将棋もプロ棋士に肉薄するレベルになってきています。さらには、コンピュータ囲碁においても、数年前より、モンテカルロ法に基づく新しいアプローチが成功して新たな展開を見えています。

今回のサイエンス・カフェでは、ゲームをプレイするAI技術の進歩について紹介します。